

# 「パブリックアートってなに？」展 vol.2

テーマ： アートの役割、社会への相互浸透に向けて

2021.11.24 (Wed) ~ 11.27 (Sat)

昨年からのコロナ禍の下、あらためてアートが私たちの日常に果たす役割が再考されています。

昨年3月、パンデミックの嵐が吹き荒れる欧州において“芸術文化は我々人類の生命維持のために必要不可欠なもの”と演説したドイツ文化相の言葉は、世界中のアーティストに勇気と希望を与えてくれました。

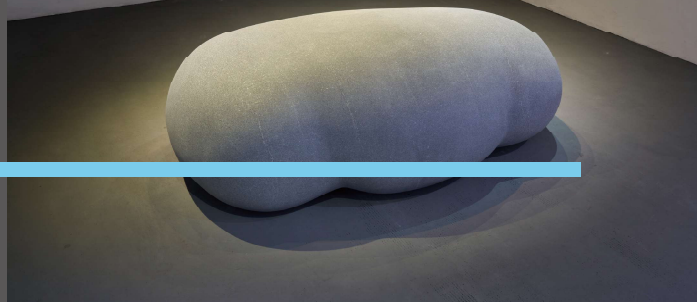
振り返って日本は・・・とみると、日本においても確かにここ近年、地域コミュニティを再生する大きな鍵としてアートが注目されてきた経緯があります。しかし、まだまだ一般の認知度は低く、まちに設置されたパブリックアートも100%上手に活用されているとはいえません。

どのようにすれば、社会とアートが相互浸透するようになるのでしょうか？

そこでこの秋、一昨年の2019年5月に開催した展覧会&シンポジウム「パブリックアートってなに？～パブリックアートと地域デザインと」に続き、第2弾として“アートと社会”をキーワードとしたシンポジウム～専門家によるクロストークと関連イベント～を開催いたします。

ポストコロナの社会を見据え、これからの社会におけるアートの役割について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

@Takeda arisa



@Amano hiroyuki

●日程：2021年11月24日(水)～27日(土)

●時間：クロストーク&ディスカッション／

11/24(水)・11/25(木)・11/26(金)・11/27(土)

各日 18:00～20:00

アートイベント／ 11/27(土) 13:00～14:30

アートセミナー／ 11/27(土) 15:00～16:30

●場所：art gallery & Legion

東京都千代田区神田神保町 2-11 三橋ビル1F

TEL/03-6272-8807

URL: <https://Legion.jp>



●内容：(各プログラムの詳細内容は、裏面をご参照ください)



●主催： art gallery & Legion

●後援：一般社団法人 日本建築美術工芸協会 aaca

2021.11.24 wed. ~ 11.27 sat. @artgallery&Legion / 神保町

# 「パブリックアートってなに？」展 vol.2

## ～プログラム～

クロストーク&ディスカッション 【\*参加費：1500円（資料・飲物含）】  
（各日 18:00～20:00） \*要予約

11/24  
(水)

松田静心（美術家） x 小野寺優元（彫刻家・アートディレクター）  
x 中村行博（（一財）地域活性化センター 副参事）

① 「社会とアートとの関係性～ソーシャル・エンゲイジド・アートという視点」

11/25  
(木)

林 浩平（詩人・批評家） x 植松 依子（研究者）

② 「ヨーゼフ・ボイス " 社会彫塑 Soziale Plastik"」 x 「パブリックアート」

11/26  
(金)

天野浩子（彫刻家） x 江口恵津子（インテリアコーディネーター）

③ 「生活環境から考える空間とアートとの関係」

11/27  
(土)

武田有左（建築家） x 橋本友希（建築コンサルタント・評論家）

④ 「建築／都市 の意味を高める ART " の可能性について」

○進行： 三上紀子（建築家・artgallery & Legion）

\*途中、換気の時間を設けることがあります \*トーク後は歓談の時間をご用意しています。

ミニ・アート・セミナー Personal Stamp ～家族の記念日～ \*要予約  
【\*参加費：3800円（上田朱作品 切手フレーム付）】

11/27  
(土)

⑤ 15:00～16:30 講師／上田 朱（美術家・イラストレーター）

家族の記念日に切手を作ってきました。楽しいプライベートな手作り切手のお話をいたします

アートイベント 【参加費無料】

11/27  
(土)

⑥ 13:00～ アート便り：Zoom 生中継：New York ブルックリンより  
presented by 伊藤知宏（美術家）

⑦ 14:00～ 握手プロジェクトII in 神保町さくら通り \*参加者募集!  
presented by 島田忠幸（美術家）

\*参加お申込み方法： クロストーク・ミニセミナー、アートイベント  
氏名、所属、連絡先（TEL& e-mail）、参加希望プログラム番号、参加人数を  
ご記入の上、artgallery.legion@gmail.com 迄、メールにてお送りください。



\*感染予防のためのマスク着用、検温のご協力をお願いいたします。



art gallery & Legion 東京都千代田区神田神保町2-11 三橋ビル1F TEL: 03-6272-8807  
https://legion.jp 東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線「神保町」駅 A1・A6出口徒歩2分

●主催：art gallery & Legion

●後援：一般社団法人 日本建築美術工芸協会

## 【パネラー&出演者 profile】

・松田静心 Shizumune Matsuda / 美術家  
1960年生まれ 故郷の桜島の火山灰を使用し、オイル・アクリル・アルキドテンペラ等の洋画材の他、日本画用の胡粉、水干、墨、箔なども使用した独自の混合技法により抽象画を制作。個展、国内外グループ展多数。他に、成田空港の壁画制作や、グラフィック・デザイン、アート・ディレクションも手掛ける。映画やドラマにも作品が使用されている。

・小野寺 優元 Onodera Yugen / 彫刻家・アートディレクター  
1950年生まれ 東京造形大学彫刻研究室修了。彫作作品制作に加え、現代美術の展覧会の企画・運営、都市空間におけるアートのあり方の提唱など都市デザイン、アートマネジメント活動に携わる。東京造形大学非常勤講師（～2019）川口市アートリア・ギャラリー芸術監督（～2019）

・中村 行博 Nakamura Yukihro / 公務員  
1986年生まれ 木津川市役所（京都府）の職員。“地域に飛び出す公務員”。わがまち再発見事業「木津川アート」を担当し行政の立場から様々なアート事業を実践。2019年より総務省の外郭団体「（一財）地域活性化センター」へ出向。

・林 浩平 Hayashi Kohei / 詩人・批評家  
1954年生まれ 文学・現代美術・ダンス・ロックの分野で批評活動。武蔵野美大・早稲田等で非常勤講師。アートブログ「饒舌三昧」で展覧会レポート。著書に『リリカル・クライ』、『テクストの思考』、『裸形の言ノ葉一吉増剛造を読む』、『折口信夫・霊性の思索者』、詩集『天使』等。

・植松 依子 Uematsu Yoriko / 研究者  
1997年生まれ 慶應義塾大学商学部卒業。計量経済学を専攻し、留学先のオスロ大学では視覚文化論を学ぶ。現在は武蔵野美術大学大学院に在籍し、ファッションの視点からパブリックアートに関する研究を行う。執筆論文に「アートのパブリック性に関する研究—アートの可能性—」（2020）

・天野浩子 Amano Hiroko / 彫刻家  
1984年生まれ 東京藝術大学大学院修了。主に石を素材として彫刻を制作し、野外展示や個展などで作品を発表している。居住空間や学校など日常生活のそばに設置される彫刻作品も手がけ、場所と作品の交差を試みている。

・江口 恵津子 Eguchi Etsuko / インテリアコーディネーター  
慶應義塾大学経済学部卒業後、主婦を経てインテリアコーディネーター資格取得。癒し空間アーティストとして住まう場所に癒しを求める提案型のリフォームを提唱。懐かしいものを受継ぎながら環境にもやさしいデザイン・リフォームを創りだす。TV出演講演会、雑誌取材等多数。日本リフォームインテリアコーディネーター協会会長（株）エリファ代表取締役

・武田有左 Takeda Arisa / 建築家  
1958年生まれ 東京藝術大学大学院修了。代表的な建築作品は、練馬区立石神井公園ふるさと文化館、代官山フォーラム、調布CIELOなど。造形作家・照明デザイナー・ランドスケープアーキテクトとのコラボレーション多数。+ANET lab. 主宰

・橋本友希 Hashimoto Tomoki / 建築コンサルタント・評論家  
1958年和歌山県出身。東京大学大学院建築学修了後、大手不動産会社に31年勤務、半導体工場、美術館、集合住宅、超高層ビル設計に携わり、再開業ではマネジメント業務を行ってきた。現在は超高層建築の専門家とし、様々なコンサルティンクを行なっている。

・上田 朱 Ueda Ake / 美術家・イラストレーター  
東京造形大学にて油絵科を専攻。卒業後、テレビ番組制作会社、画廊勤務の仕事をした後、イラストレーターとして独立。児童書の挿絵や、図鑑、教科書、文芸誌、などにイラスト作品を提供するかわら、自作の発表を続ける。

・伊藤知宏 Ito Chihiro / 画家・現代美術家  
東京都出身、武蔵野美術大学卒業。文化庁新進芸術家海外研修制度研修員、欧州文化首都招待芸術家などを経てNY在住。花や野菜を詩的に描くことに挑戦したり、実験映像も制作。

・島田忠幸 Shimada Tadayuki / 彫刻家  
1946 東京都生まれ。砂のシリーズで個展多数。その後、越後妻有トリエンナーレ2009大地の芸術祭や各国の野外展や国際シンポジウムに参加。茨城県の「取手アートプロジェクト(TAP)」では、TAP 2000で巨大砂時計を、TAP2002ではサッパ舟による浮橋を制作。アルミを素材とした動物の彫像シリーズを制作済

・三上 紀子 Mikami Noriko / 建築家・artgallery & Legion 主宰  
1964年生まれ、東京大学大学院新領域創成科学研究科修了。建築家として建築デザイン・設計監理に携わる傍ら、2018年神保町に建築と現代アートをコンセプトとしたギャラリーを開設。日本大学生産工学部非常勤講師。レジオン・コンサパティブ（株）一級建築士事務所代表取締役